令和
 7
 年度
 年間授業計画
 教科
 国語
 科目
 論理国語
 単位数:
 2
 単位

対象学年組:第 3 学年

||教科書:標準論理国語(第一学習社) 使用教科書:||副教材:新課程対応高校生必修語彙ノート(三訂版)新訂総合国語便覧(第一学習社)

教科 国語 の目標:

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使っている。

【思考力、判断力、表現力等】
「個すこと・同くこと」「強くこと」「強くこと」の各個域において、生国にわたる社会生活における他者のとの関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり限めたりしている。

【学びに向かう力、人間性等】
「開発を選じて機関的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり見めたりしながら、言素が持つ音質への問題を思めようとしているとともに、言語感覚を意き、言葉を効果的に使思うとしている。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるよう にする。	的に考える力を延ばすとともに、創造的に考える力を養い、他 者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広 けたい思致かたりする	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

# 元 1 新しい博物学を 指導項目・内容				領域							配								
「知識及び技能]		単元の具体的な指導目標	指導項目・内容		書	読	評価規準	知	思	態	当時								
文本の概念や展開のた力について理象を表の。		単 元 1 新しい博物学を	指導項目に対し、次の教材等を活用する。				次の観点別評価規準に従い評価する。												
思考力、判断力、表現力  ・		【知識及び技能】	・指導事項		0 0		【知識及び技能】												
四季の機能、製造の機能を約率に対し、無金の機能   「学びに向かう力、人間性等]		文章の構成や展開の仕方について理解を深める。					文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。												
対象を構成、無効の機能を設成に見る、油を中間になるが出来を対象に表す。 数料書等		【思考力、判断力、表現力】	• 教材			0	【思考力・判断力・表現力】			0	6								
双の内容を製に、日のの表を製造したり担したからしていて、保護中の食食や標準の変度が変更がある。  型元 2 S NSと 意見の分配で 指導項目に対し、次の般対等を受用する。 「知識及び技能]  耐能と相談との表に表のの表に表の。  「思考力、判断力、表現力]  対象科書等 「学びに向かう力、人間性等]  大変の内容を発達したり担しかったりとていて、日本の自由性で解析を表したり担かったりとしていて、日本の自身を発達したり担しかったりとていて、日本の自身を発達したり担かったりとていて、日本の自身を発達したり担かったりとていて、日本の自身を発達したり担かったりとていて、日本の自身を発達したり担かったりとていて、日本の自身を発達したり担かったりとていて、日本の自身を発達したり担かったりとていて、日本の自身を発達したり担かったりとていて、日本の自身を発達したり担かったりとていて、日本の自身を発達したり担かったりとていて、日本の自身を発達したり担かったりとていて、日本の自身を発達したり担かったりとていて、日本の自身を発達したり担かったりとていて、日本の自身を発達したり担かったりとていて、日本の自身を発展していて、日本の自身を発展していて、日本の自身を発展していて、日本の自身を表したりまたが、検討する。 「知識及び技能]  本語の自身を発展していて、日本の主を表したりましたりましたがして、で、日本の主を表したりましたりましたりましたりましたりましたの方式を表したりましたりましたりましたりましたりましたりましたりましたりましたりましたりま			教科書等			-   -				)									
世元 2 SN Sと思見の分極化 推導項目に対し、次の数対等を活用する。 「知識及び技能] ・指導導項 ・指導導項 ・指導導項 ・機能やは移足の関係について複数を別、機能を ・提等や議集を開発して対策を引入、機能を ・型のの対象を認定を対象を対象を対象を表現としている。 「でいて向かう力、人間性等」 ・一人 1 台端末の活用(場面)		【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用(場面)				【学びに向かう力、人間性等】												
知識及び技能  小指導事項			調べ学習や意見記述																
情報と情報との問題について理解を認め、情報を開		単 元 2 SNSと意見の分極化	指導項目に対し、次の教材等を活用する。				次の観点別評価規準に従い評価する。												
■応して海野する方法を学ぶ。  【思考力、判断力、表現力】  ・教材  ② ○ ○ ○ 7  「学びに向かう力、人間性等】  ・ 一人 1台端末の活用(場面)  文庫の内容を組に、自分の考えを始減したり類し  おこりしていく中で、自の考えを始減したり類し  おこりしていく中で、自の考えを強減したり類し  おこりでは、一般を強力を関係である。  【思考力、判断力、表現力】  ・ 機器や結論を認め、同義と経験と、同義の表とを強減したり類し  おこりのの容と似に、自かしたとのの見方、感じ方、考え方 を授え、同者を解析している。  【学びに向かう力、人間性等】  上起の内容について、授業中の参書や課題の完成度な どのおいて主体的かつ積極的にあり組んでいる。  【知識及び技能】  ・ 指導事項  ※素の側端や展開の仕方について理解を深め。  【思考力、判断力、表現力】  ・ 教科書等  「学びに向かう力、人間性等】  ※教育書等  ※本の側部を上記したり返し、同者と比較したが与えを表される。  【学びに向かう力、人間性等】  ※教育書等  ※本の側のと私に、自かの考えを論述したり組入  おこりのにする、自然を表める。  単 元 4 クマを変えてしまう人間  指導事項  ※素のの場と私に、自分の考えを論述したり組入  なの場を経験である。  「地球のび技能】  ※教材書等  ※本のの間をといて書かれた細紋と生物も、たり  なの表とを述えのが、中で、自らの考えを強力、でいる。  「学びに向かう力、人間性等】  ・ 上記の内容について書から加展的に取り組んでいる。  「知識及び技能】  上記の内容について、手体がの自動の完成な  だころいて、主体的かの程を解し、でいる。  「知識及び技能】  上記の内容について、主体的かの程を解し、関のでき加速性を必ず、たいでした。  「知識及び技能】  ・ 指導事項  ※教材書等  「学びに向かう力、人間性等】  ・ 一人 1台端末の活用(場面)  対象を解析する。  「知識及び技能】  ・ 指導事項  「地域は相談にのないで書かかれた細紋と生物、くでしている。  「思考力、判断力、表現力】  ・ 教材書等  「学びに向かう力、人間性等】  ・ 一人 1台端末の活用(場面)  ※教材書等  「学びに向かう力、人間性等】  ・ 一人 1台端末の活用(場面)  ※教材書等  「学びに向かう力、人間性等】  ・ 一人 1台端末の活用(場面)  ※教材書等  「学びに向かう力、人間性等】  ・ 上記の内容について、大変の中で活用とている。  「理考力・判断力・表現力】  ・ 技能して変更する方法を考し、 「一人 1台端末の活用(場面)  ※教材書等  「学びに向かう力、人間性等】  ・ 上記の内容について、授業中の発音や課題の完成成な  「学びに向かう力、人間性等】  上記の内容について、技術が登場を表し、に対している。  「と言えて、自然の事とをあらしまりに、対しの表しましている。  「学びに向かう力、人間性等】 」 上記の内容について、授業中の発音や課題の完成な  「学びに向かう力、人間性等】  上記の内容について、授業中の発音や課題の完成成な  「学びに向かう力、人間性等】  上記の内容について、技術を表しましている。  「学びに向かう力、人間性等】  上記の内容について、技術のとなどに対している。  「学びに向かう力、人間性等】  上記の内容について、投稿を記している。  「学びに向かう力、人間性等】  上記の内容について、技術の表とを対しいている。  「学びに向かう力、人間性等】  上記の内容について、技術の発音を振れている。  「学びに向かう力、人間性等】  上記の内容について、技術の発音を表したいしている。  「知識など情報と可能を表している。  「記述などのおいている。  「となりになどのなどのなどのなどのなどのなどのなどのなどのなどのなどのなどのなどのなどのな		【知識及び技能】	・指導事項				【知識及び技能】												
機能合能を批判的に結計し、文章の実践性や信服 教科書等																			
機器や経験を担向には対し、文章の異性や位態 性を対して内容を解析で力法を 「学びに向かう力、人間性等」 ・一人 1 台端末の活用(場面)  文章の内容を編え、自分の考えを練えしたり話し 合ったりしていやで、自らの考えを練えしたりまし 会ったりましている中で、自らの考えを練えた。 「理事項 情報を振したりましたがら考えを 接触する。 「理事力、判断力、表現力」 ・教材 「一人 1 台端末の活用(場面) 「学びに向かう力、人間性等」 ・一人 1 台端末の活用(場面) 「学びに向かう力、人間性等」 ・一人 1 台端末の活用(場面) 「学びに向かう力、人間性等」 ・一人 1 台端末の活用(場面) 大章の内容を経たして、自らの考えを練えしたがある。 「知識及び技能」 「理事の発表や機能したり活し 会方がよの事を発し、用きを比較しながら考えを まとめる方法を学ぶ。 「学びに向かう力、人間性等」 ・一人 1 台端末の活用(場面) 大章の内容を基に、自分の考えを終えしている。 「知識及び技能」 「理事の考えを検えしている。 「知識及び技能」 「理事の考えを検えしている。 「知識及び技能」 「報事項目に対し、次の教材等を活用する。 「知識及び技能」 「知識の手に関係で深める。 「知識及び技能」 「対象の内容を経しい話していて、原本の身をを検えしい話して、ま体的かの機能的に取り組んでいる。 「知識及び技能」 「報事項目に対し、次の教材等を活用する。 「知識及び技能」 「報事事項 「		【思考力、判断力、表現力】	・教材				【思考力・判断力・表現力】												
大窓の内容を基に、自分の着えを設置したり話し 自ったりしていく中で、自らの考えを深める。    定期考査(第 1 字期中間考査)/返却と解説   学   一			教科書等		0	0		0	0	0	7								
をつたりしていく中で、自らの考えを深める。		【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用(場面)	人間性等】 ・一人 1 台端末の活用(場面)				【学びに向かう力、人間性等】											
単 元 3 コミュニケーションの文化 指導項目に対し、次の教材等を活用する。 【知識及び技能】			調べ学習や意見記述																
日知識及び技能   ・指導事項   日初識及び技能   土壌とその前提や反話など情報と情報との関係について理解を深める。   「世界力・判断力、表現力   ・教材   ・一人 1 台端末の活用 (場面)   大章の内容を基に、自分の考えを強めたい、連系を表別の大きにいて、変数の関係を活動したの表表を表別した。   大事事項   「大事事項   「大事事項   「大事事項   「大事事項   「大事事項   「大事事項   「大事事項   「大事事項   「大事事項   「大事事事の法とのいて理解を深め、情報を開発していて理解を深めている。   「世別に向かう力、人間性等   ・一人 1 台端末の活用 (場面)   大章のの神を基に、自分の考えを強さしたり話し、大の教材等を活用する。   「大事事項   「大事事項   「大事事項   「大事事項を必要な   「大事事項   「大事事事者を表に自分の考えを表め、「大事事項   「大事事項   「大事事」   「大事」   「大事事」   「大事」   「大事」	1	定期考査(第1学期中間考査)/返却と解説									1								
大章の構成や展開の仕方について理解を深める。   根拠や結論を導く論拠を批判的に   技術する。   根拠や結論を導く論拠を批判的に   技術する。   (思考力、判断力、表現力)   計画する文章を接外比べ、書き手の立場や目的を考えながら内容を解釈し、両者を比較しながら考えを   表がら内容を解釈し、両者を比較しながら考えを   表がら内容を解釈し、両者を比較しながら考えを   大章の内容を必に、自らの考えを認述したり話し   方。 4 クマを変えてしまう人間   指導項目に対し、次の教材等を活用する。   指導事項   文章の内容を指記しついて理解を深め、情報を開展との関係について、授業中の発言や課題の完成度な   上記の内容について、授業中の発言や課題の完成度な   上記の内容について、授業中の発言や課題の完成度な   上記の内容について、技事のの意とを認め、   指導事項   大事の内容を解釈する。   上記を内容を解釈する。   上記を内容を解釈する。   上記を内容を解釈する。   知識及び技能   物報と情報との関係について、授業中の発言や課題の完成度な   上記を力が表を学ぶ。   大事の表言を認め、   大事の表言を認め、   大事の表言を認め、   大事の方法を学ぶ。   大事の力・教材   上記を力・判断力・表現力   上記を力を書に合いて書かれた論説文を挟み、その内容を解釈する。   本語を与いましている。   上記を力の考えをまとの方法を学ぶ。   本語・大事の方法を学ぶ。   本語・大事のの言とをまとの方法を学ぶ。   本語・大事のの言とをまとの方法を学ぶ。   本語・大事のの言とを表との方法を学ぶ。   本語・大事のの言とを表ともの方法を学ぶ。   本語・大事のの言と表に自分の考えを論述したり話し合いの言と表にもの方法を学ぶ。   本語・大事のの言と表にもの方法を表表にしていて、授業中の発言や課題の完成度な   上記の内容について、授業中の発言や課題の完成度な   本語・大事のの言と表に対している。   本語・大事のの言と表示。   本語・大事の	学	単 元 3 コミュニケーションの文化	指導項目に対し、次の教材等を活用する。			【知識及び技能】 主張とその前提や反証など情報と	次の観点別評価規準に従い評価する。												
検討する。	期	【知識及び技能】	・指導事項	-			【知識及び技能】												
関連する文章を読み比べ、書き手の立場や目的を考えたがら内容を解釈し、両者を比較しながら考えを 教科書等  【学びに向かう力、人間性等】		文章の構成や展開の仕方について理解を深める。																	
関連する文章を挟み比べ、書き手の立場や目的を考 えながら内容を解釈し、同者を比較しながら考えを まとめる方法を学ぶ。  【学びに向かう力、人間性等】 ・一人 1 台端末の活用(場面)  文章の内容を基に、自分の考えを論述したり話し 合ったりしていく中で、自らの考えを強める。 単元 4 クマを変えてしまう人間 指導項目に対し、次の教材等を活用する。 【知識及び技能】 ・指導事項 「特報と情報と問題について理解を深め、情報を贈 層化して整理する方法を学ぶ。  【思考力、判断力、表現力】 ・教材  社会的な話題について書かれた論段文を読み、その 内容を基に自分の考えをまとめる方法を学ぶ。 【学びに向かう力、人間性等】 ・一人 1 台端末の活用(場面)  文章の内容を基に、自分の考えを強み、その 内容を解釈する。  【思考力・判断力・表現力】 ・教材  と記述を吟味して 内容を解釈する。  「思考力・判断力・表現力】 ・教材書等  「学びに向かう力、人間性等」 ・一人 1 台端末の活用(場面)  文章の内容を基に、自分の考えを強込したり話し 合ったりしていく中で、自らの考えを強込したり話し 合ったりしていく中で、自らの考えを深める。  「おり、これでは、一般を開発している。」 「学びに向から力、人間性等」 ・一人 1 台端末の活用(場面)  文章の内容を基に、自分の考えを強込したり話し 合ったりしていく中で、自らの考えを深める。  「学びに向かう力、人間性等」 ・一人 1 台端末の活用(場面)  本館の内容を基に、自分の考えを強込したり話し をったりしていく中で、自らの考えを深める。  「学びに向から力、人間性等」 ・一人 1 台端末の活用(場面)		【思考力、判断力、表現力】	・教材					【思考力・判断力・表現力】											
文章の内容を基に、自分の考えを論述したり話し合ったりしていく中で、自らの考えを深める。		えながら内容を解釈し、両者を比較しながら考えを	教科書等	_	0	0	や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の	0	0	0	6								
自ったりしていく中で、自らの考えを深める。  □		【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用(場面)				【学びに向かう力、人間性等】												
【知識及び技能】     ・指導事項			調べ学習や意見記述																
情報と情報との関係について理解を深め、情報を階 文章の妥当性や信頼性を吟味して 内容を解釈する。  【思考力、判断力、表現力】 ・教材  社会的な話題について書かれた論説文を読み、その 内容を基に自分の考えをまとめる方法を学ぶ。  【学びに向かう力、人間性等】 ・一人 1 台端末の活用(場面)  文章の内容を基に、自分の考えを論述したり話し合ったりしていく中で、自らの考えを深める。  訓べ学習や意見記述  文章の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈している。  【学びに向かう力、人間性等】 ・一人 1 台端末の活用(場面)			指導項目に対し、次の教材等を活用する。																
歴化して整理する方法を学ぶ。 内容を解釈する。  【思考力、判断力、表現力】 ・教材  社会的な話題について書かれた論説文を読み、その内容を基に自分の考えをまとめる方法を学ぶ。  【学びに向かう力、人間性等】 ・一人 1 台端末の活用(場面)  文章の内容を基に、自分の考えを論述したり話し合ったりしていく中で、自らの考えを深める。  「おりしていく中で、自らの考えを深める。  「おりしていく中で、自らの考えを深める。  「本材料 では、大章の中で活用している。  【思考力・判断力・表現力】  ・ 接張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈している。  【学びに向かう力、人間性等】  上記の内容について、授業中の発言や課題の完成度などのおいて主体的かつ積極的に取り組んでいる。							【知識及び技能】												
せ会的な話題について書かれた論説文を読み、その 内容を基に自分の考えをまとめる方法を学ぶ。 教科書等 ・ ・ 一人 1 台端末の活用(場面)		in the in the statement of the court in the cit	I																
社会的な話題について書かれた論説文を読み、その 内容を基に自分の考えをまとめる方法を学ぶ。  【学びに向かう力、人間性等】  ・一人 1 台端末の活用(場面)  文章の内容を基に、自分の考えを論述したり話し 合ったりしていく中で、自らの考えを深める。  初科書等  ・一人 1 台端末の活用(場面)  上記の内容について、授業中の発言や課題の完成度な どのおいて主体的かつ積極的に取り組んでいる。		【思考力、判断力、表現力】	・教材		0		【思考力・判断力・表現力】												
文章の内容を基に、自分の考えを論述したり話し 合ったりしていく中で、自らの考えを深める。 調べ学習や意見記述 上記の内容について、授業中の発言や課題の完成度な どのおいて主体的かつ積極的に取り組んでいる。			教科書等			0	0	0	0	0	0	0	0	0	し、文章の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈して	0	0	0	7
合ったりしていく中で、自らの考えを深める。 調べ子首で息兄記型 どのおいて主体的かつ積極的に取り組んでいる。		【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用(場面)										【学びに向かう力、人間性等】						
定期考査(第1学期期末考査)/返却と解説 1			調べ学習や意見記述																
		定期考査(第1学期期末考査)/返却と解説									1								

令和 年度 年間授業計画 教科 国語 科目 論理国語 科 目: 論理国語 2 単位 教科: 国語 単位数:

対象学年組:第 3 学年

||教科書:標準論理国語(第一学習社) 使用教科書:||副教材:新課程対応高校生必修語彙ノート(三訂版)新訂総合国語便覧(第一学習社)

教科 国語 の目標:

<mark>【 知 識 及 び 技 能 】</mark>生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使っている。 「話すこと・聞くこと」「幸くこと」「禁むこと」の各領域において、生涯にわたる社会生活における他者のとの関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】 音楽を選じて機種的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、音楽が持つ音後への医療を深めようとしているとともに、言語感覚を息き、音楽を効果的に使おうとしている。

論理国語 科目 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かうカ、人間性等】
1- 9 00	的に考える力を延ばすとともに、創造的に考える力を養い、他   との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広  はたい要めたりする	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

				領域						配								
	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	話 • 聞	書	読	評価規準	知	思	態	当時数								
	単 元 5 経験の教えについて	指導項目に対し、次の教材等を活用する。							次の観点別評価規準に従い評価する。	Ħ								
	【知識及び技能】	・指導事項					【知識及び技能】											
	文章の構成や展開の仕方について理解を深める。	文章の効果的な組み立て方や接続 の仕方を理解し活用する。				評論の基本的な読み方を習得している。												
	【思考力、判断力、表現力】	・教材			0	0	【思考力・判断力・表現力】	り・判断力・表現力】	0	0	6							
	文章の内容や解釈を評価し、自分の考えを深める方 法を学ぶ。	教科書等							Ü	O			内容や構成、論理の展開を的確に捉え、論点を明確に しながら用紙を把握する力が身についている。			)		
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用(場面)				【学びに向かう力、人間性等】												
	文章の内容を基に、自分の考えを論述したり話し 合ったりしていく中で、自らの考えを深める。	調べ学習や意見記述					上記の内容について、授業中の発言や課題の完成度などにおいて、主体的かつ積極的に取り組んでいる。											
	単 元 6 支えあうことの意味	指導項目に対し、次の教材等を活用する。				次の観点別評価規準に従い評価する。												
	【知識及び技能】	・指導事項				【知識及び技能】												
	情報と情報との関係について理解を深め、情報を階 層化して整理する方法を学ぶ。	具体例の息図を理解し、それに基づく筆者の主張を的確に把握する。					文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。											
	【思考力、判断力、表現力】	・教材				【思考力・判断力・表現力】												
	文章に関連した題材について、調査したことをまと めたり発表したりする方法を学ぶ。	教科書等	-	0	0	0	0	0	0	作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方 を捉え、内容を解釈している。		0	0	7				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用(場面)						【学びに向かう力、人間性等】										
	文章の内容を基に、自分の考えを論述したり話し 合ったりしていく中で、自らの考えを深める。	調べ学習や意見記述						上記の内容について、授業中の発言や課題の完成度な どのおいて主体的かつ積極的に取り組んでいる。										
_	定期考査(第2学期中間考査)/返却と解説									1								
学	単元 7 僕らの時代のメディア・リテラシー	指導項目に対し、次の教材等を活用する。			次の観点別評価規準に従い評価で	次の観点別評価規準に従い評価する。												
期	【知識及び技能】	・指導事項				【知識及び技能】												
	文章の構成や展開の仕方について理解を深める。	内容を的確に捉え、要旨を把握す る方法を学ぶ。	-			根拠や論拠を批判的に検討し、文章の妥当性や信頼性 を吟味して内容を解釈する方法を学ぶ。												
	【思考力、判断力、表現力】	・教材				【思考力・判断力・表現力】												
	自分の考えが的確に伝わる文章になるよう工夫する 方法を学ぶ。	教科書等	0	0	0	0	0	自分自身の存在と他者との関係について、多様な論点 や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の 考えを深めている。	0	0	0	6						
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用(場面)				【学びに向かう力、人間性等】												
	文章の内容を基に、自分の考えを論述したり話し 合ったりしていく中で、自らの考えを深める。	調べ学習や意見記述				上記の内容について、授業中の発言や課題の完成度な どにおいて、主体的かつ積極的に取り組んでいる。												
	単元 8 科学技術は暴走しているのか					次の観点別評価規準に従い評価する。												
	【知識及び技能】	・指導事項	1			【知識及び技能】												
	情報と情報との関係について理解を深め、情報を階層化して整理する方法を学ぶ。	根拠や結論を導く論拠を批判的に検討する。		0		主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深めている。												
	【思考力、判断力、表現力】	・教材			0		【思考力・判断力・表現力】											
	文章の内容を基に、自分の考えを論述したり発表し たりする方法を学ぶ。	教科書等				0	し、文章の妥当性や信頼 いる。 【学びに向かう力。 上記の内容について、授	0	0	0	0	0	0	主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈している。	0	0	0	7
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用(場面)									【学びに向かう力、人間性等】							
	文章の内容を基に、自分の考えを論述したり話し 合ったりしていく中で、自らの考えを深める。	調べ学習や意見記述						上記の内容について、授業中の発言や課題の完成度な どのおいて主体的かつ積極的に取り組んでいる。										
	定期考査(第2学期期末考査)/返却と解説									1								

令和 年度 年間授業計画 教科 論理国語 教科: 国語 科 目: 単位数:

科目 単位

国語

2

論理国語

対象学年組:第 3 学年

||教科書:標準論理国語(第一学習社) 使用教科書:||副教材:新課程対応高校生必修語彙ノート(三訂版)新訂総合国語便覧(第一学習社)

教科

国語

の目標:

<mark>【 知 識 及 び 技 能 】</mark>生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使っている。 「話すこと・聞くこと」「幸くこと」「禁むこと」の各領域において、生涯にわたる社会生活における他者のとの関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】 言葉を選じて被領的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉が持つ振慢への医療を深めようとしているとともに、言語感覚を患き、言葉を効果的に使おうとしている。

科目

論理国語

の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるよう にする。	的に考える力を延ばすとともに、創造的に考える力を養い、他 者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広 ばたい思致かたりする	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	領域						<b>3</b> 7			
	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	話 • 聞	書	読	評価規準	知	思	態	配当時数
	単 元 9 哲学的思考とは何か	指導項目に対し、次の教材等を活用する。				次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・指導事項				【知識及び技能】				
	文章の構成や展開の仕方について理解を深める。	文章の妥当性や信頼性を吟味して 内容を解釈する。				論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために 必要な語句を習得し、文章の中で活用している。				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材		0	0	【思考力・判断力・表現力】	0	0	0	4
	設定した題材について分析した内容を、レポートに まとめる方法を学ぶ。	教科書等				内容や構成、論理の展開を的確に捉え、論点を明確に しながら用紙を把握する力が身についている。		0	)	4
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用(場面)				【学びに向かう力、人間性等】				
	文章の内容を基に、自分の考えを論述したり話し 合ったりしていく中で、自らの考えを深める。	調べ学習や意見記述				上記の内容について、授業中の発言や課題の完成度な どにおいて、主体的かつ積極的に取り組んでいる。				
	単 元 10 自宅学習	指導項目に対し、次の教材等を活用する。				次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・指導事項	-			【知識及び技能】				
	【思考力、判断力、表現力】	- 教材				【思考力・判断力・表現力】				
	【心考力、刊劃力、表現力】	- 47 19		0	0	[心有力・刊刷力・表現力]	0	0	0	10
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用(場面)				【学びに向かう力、人間性等】				
3										
学	単 元 11	指導項目に対し、次の教材等を活用する。				次の観点別評価規準に従い評価する。				
期	【知識及び技能】	・指導事項				【知識及び技能】				
	【思考力、判断力、表現力】	• 教材				【思考力・判断力・表現力】				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用(場面)				【学びに向かう力、人間性等】				
						2707-1712 9900 011012 92				
	単 元 12	指導項目に対し、次の教材等を活用する。				  次の観点別評価規準に従い評価する。	+			
	【知識及び技能】	・指導事項				【知識及び技能】				
	2,44,44	74.07.2								
	【思考力、判断力、表現力】	  ・教材				【思考力・判断力・表現力】	-			
	心为为、下周力、农利力	<del>3</del> 2.10				「心づり」 下間に ながり				
	 【学びに向かう力、人間性等】	  ・一人 1 台端末の活用(場面)	1			【学びに向かう力、人間性等】	1			
	Z S T T T S S S S S S S S S S S S S S S					Z Z Z Z Z Z Z Z Z Z Z Z Z Z Z Z Z Z Z				
<u> </u>			l					l		